

2018/12/01 (土) 13:30 ~ 16:30
at 福祉センター

鎌倉の未来について考え、 行動するためのワークショップ

第1回 地域の魅力を集める



セッションの目的

明日の鎌倉、10年後の鎌倉、百年後の鎌倉。

一とともに考え、ともに創る人、募集一

地域の魅力を集める

本日の進め方

1

13:30-14:15

市民対話の目的や進め方を共有する

イントロダクション / ストーリーテリング / 手あげアンケート

2

14:15-15:30

鎌倉市の魅力を集める

魅力を付箋に書く / 休憩 / ワールドカフェ / グループ対話

3

15:30-16:30

「2030年の鎌倉」が取り上げられた新聞の一面を描く

未来編集会議 / 休憩 / 発表 / クロージング

1.市民対話の目的や進め方を共有する

- インタロダクション / ストーリーテリング / 手あげアンケート

Introduction



鎌倉市
共創計画部 企画計画課
青木 香織さん



鎌倉市
共創計画部 政策創造課
竹之内 直美さん

竹之内さん「鎌倉市は現在、第3次鎌倉市総合計画の第4期基本計画を策定しています。今回からはじまる全4回の市民対話から出てきたアイデアを、この計画策定の参考にしたいと考えています」

青木さん「鎌倉市総合計画って、言葉が難しいですけど、**鎌倉をどんなまちにしていきたいのか、そのために、誰がどんなことをするのかをまとめるようなもの**です。まちづくりを進めていくための、道しるべだと思ってください。総合計画には基本構想があり、それを実現するための基本計画をつくり、実施するための実施計画をつくっています。今回の市民対話を、基本計画の参考にしたいと思っています」

竹之内さん「中高生の参加者にわかるように言うと、たとえば、学校で決める学級目標みたいなものですね。この1年、みんなで仲良く、元気に、楽しく過ごすという目標を立てて、そのために何をするか、というような」

青木さん「今回はそこに国連が定めた、持続可能な開発目標であるSDGsの概念も取り入れたいと考えています。SDGsは、たとえば経済だけを優先して環境を壊してしまうのではなく、また、貧困や高齢化といった課題を放置するのではなく、**経済も環境も社会もすべてをバランスさせながらよくしていくための目標**です」

竹之内さん「鎌倉市は、他の市町村に比べて経済も環境も社会も課題が少なそうに見えるかもしれませんが、そうではありません。人口の減少や高齢化などの問題に取り組まないといけないのです」

青木さん「**課題を乗り越えるには行政だけの力では難しいのです。市民のみなさんたちとパートナーシップを組んで、取り組みたいのです。**この市民対話はそのための場です。今日はよろしくお祈いします！」

2. 鎌倉市の魅力を集める

- 魅力を付箋に書く / 休憩 / ワールドカフェ / グループ対話



魅力を付箋に書く



ワールドカフェ（World Cafe）

- どんな地区に、どんな魅力（モノ・コト・ヒト・トコロ・カコ・ミライ・ワザ・クウキ・シゴト）がある？

3. 「2030年の鎌倉」が取り上げられた新聞の一面を描く

- ・ 未来編集会議 / 休憩 / 発表 / クロージング



未来編集会議

- 2030年、鎌倉市が新聞の一面で取り上げられました！
- どんなことが起きて新聞に取り上げられましたか？鎌倉市の魅力9要素を起点に考えます。

Presentation



2030年12月1日の「NEW YORK TIMES 号外」です。
見出しは、「復活！鎌倉幕府。850年ぶり」。

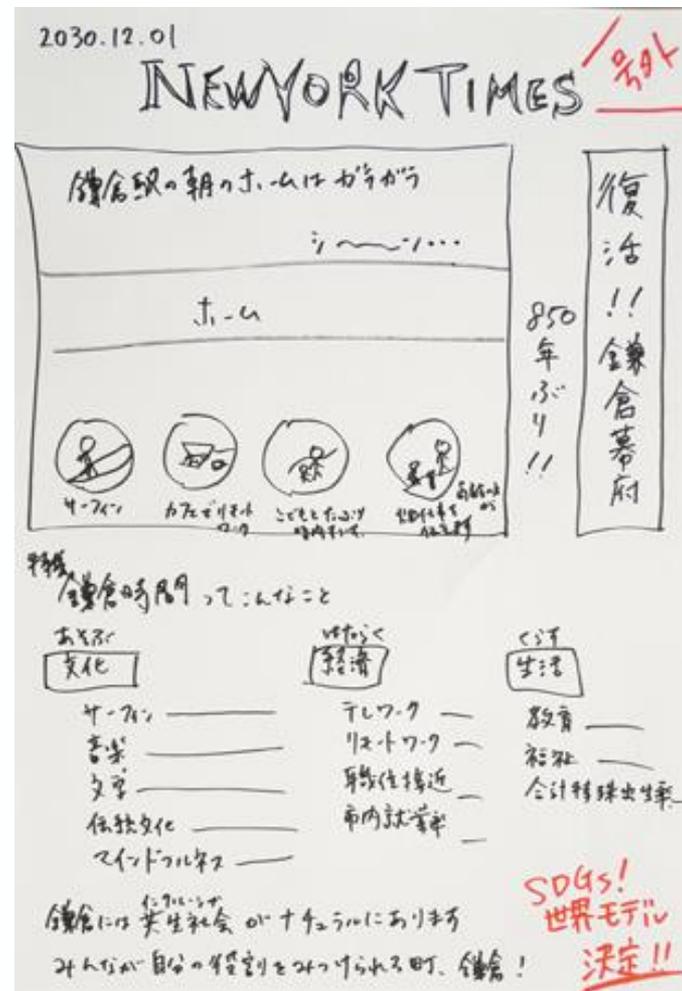
鎌倉駅の朝のホームはガラガラです。なぜなら誰も出勤しないから。鎌倉の人たちはみんな、朝はサーフィンをしたり、カフェでリモートの仕事をしたり、子どもと一緒に過ごしている人もいますし、高齢者は若い人に農業を教えています。

のんびりした鎌倉時間のなか、住職遊が近接して市内の就職率があがっています。福祉も充実して出生率もアップ。みんながのびのびと暮らしています。

高齢者に「いてくれてありがとう」と心の底から言えるまち。すべての世代の人、一人ひとりが役割を認識して、地産地消の豊かな鎌倉で笑顔で暮らしています。

鎌倉市の魅力：

色鮮やかで朝どれ野菜が手に入ること（モノ）、鎌倉彫り（モノ）、自然が多い（コト）、zen2.0（コト）、鎌倉幕府2.0（コト）、支え合い活動が活発（コト）、サーファー（ヒト）、禅発祥の地（カコ）、民が初めて政治をとった鎌倉幕府（カコ）、コバカバ・パラダイスアレイなど魅力的な小商い（カコ）、出生率アップの地域に（ミライ）、伝統芸能（ワザ）、市内唯一の上場企業カヤック（シゴト）、IT系企業（シゴト）、パタゴニア本社（シゴト）



Presentation



2030年12月1日の「THE KAMAKURA TIMES」です。

なんと出生率が4.0！この数値は、SDGsを鎌倉流に適用したたまものです。

野村総研の跡地には、緑があふれていて、子どもたちもあふれています。世間では自然保育が流行しているのですが、鎌倉で実施されていた自然保育によりやがて世間がおいついてきた感じなのです。

人口グラフもグーンと伸びています。鎌倉市は、自然保育だけでなく、企業誘致にも大成功しています。働きながら子育てできるママたちの理想の街として、全国で有名に。お母さんが集まり、お子さんも生まれます。

ちなみに、私たちのチームには、すでに出生率4.0の方がふたりも！なので、実現は難しくはないはず！

鎌倉市の魅力：

住宅地（モノ）、子どもから老人まで多世代がバランスよく暮らしている（ヒト）、主婦の頑張り（ヒト）、自然が豊か（トコロ）、野村総研の跡地（トコロ）、海があり山がある（トコロ）、SDGsの未来を考えている（ミライ）、鎌倉で暮らし・働き・遊べるまち（ミライ）、お互いを認め合いそれぞれの居場所・働く場所がある（ミライ）、カマコンパレー（ミライ）、自由な働き方をしている人がいる。仕事までにサーフィン、テレワーク（シゴト）、主婦起業（シゴト）



Presentation



2030年12月1日の「毎朝Times」です。
見出しは「鎌倉大学からノーベル賞！新しい大学誘致の成果」です。

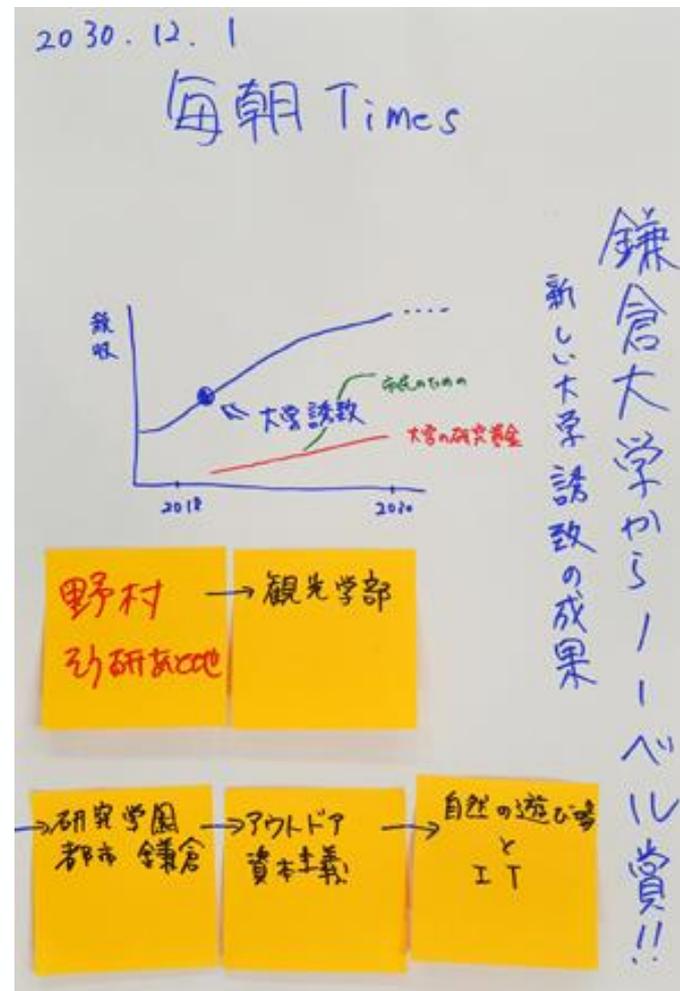
野村総研の跡地に、なんと鎌倉大学の観光学部ができています。

野村総研の跡地に新たな研究学園都市が誕生したのです。
そして、アウトドアの資本主義が立ち上がり、鎌倉大学の学生がノーベル賞を受賞することになりました。受賞者は鎌倉で生まれ育った女性です。

2018年に大学を誘致した後、税収がどんどん伸びました。その結果、大学にかけられる資金が上がって、市民に使うことのできる資金もどんどん増えています。

鎌倉市の魅力：

緑が多い（モノ）、大学・研究所・卒業生・ノーベル賞（コト）、観光客（ヒト）、カマコン（ヒト）、緑と景観（トコロ）、古い建物の保存（カコ）、歴史が学べる（カコ）、鎌倉資本主義（ミライ）、カマコン（ミライ）、自然活用（ミライ）、IT企業（ミライ）、IT企業（シゴト）



Presentation



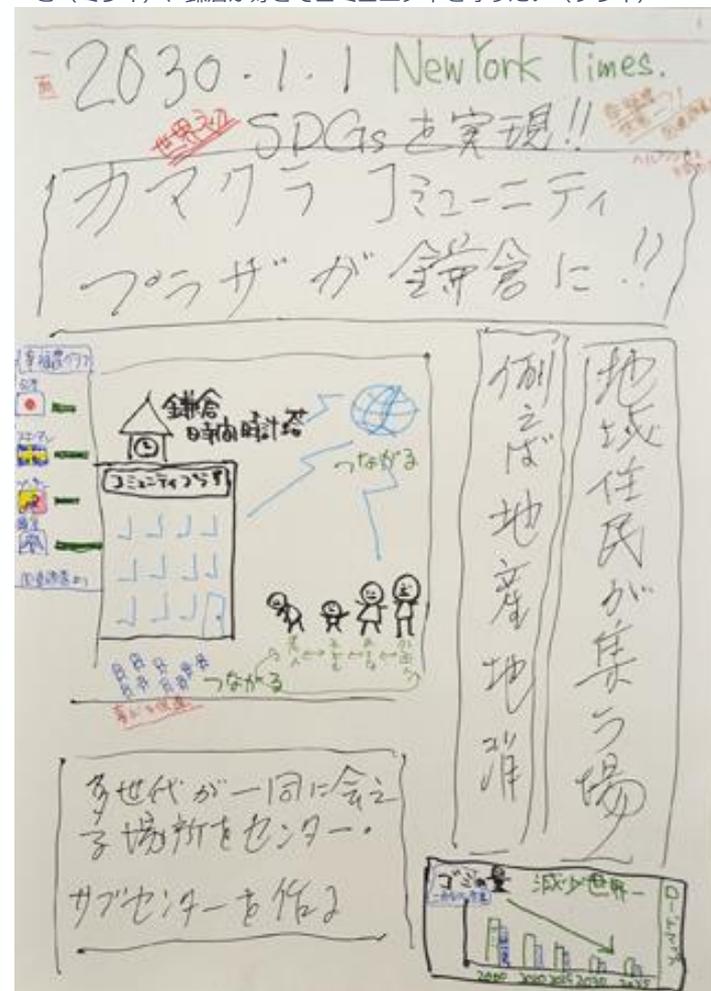
2030年1月1日の「New York Times」朝刊です。

鎌倉市は世界で初めて、SDGsを実現しました。幸福度世界一調査でも、ヘルシンキを超えて、世界一位に躍り出ています。市役所の跡地には鎌倉コミュニティプラザができました。地域住民はもちろん外国人の方々も集うグローバルな場所です。コミュニティプラザは集いの場でありながら、地産地消を基本とした衣食住が揃っています。幸福度ナンバーワン、世界一を目指す場所なのです。

この新聞に掲載されている写真は、ニューヨークタイムスのフォトグラファーである私が、大晦日に撮影したものです。子どもから高齢者まで一緒に楽しんでいますね。全世代が集う鎌倉コミュニティプラザだけでなく、サブセンターが各町内にできています。

鎌倉市の魅力：

海産物（モノ）、町内会イベント（コト）、近所との付き合い（ヒト）、アイデアを持っている人がたくさんいる（ヒト）、高齢者が楽しそうでおしゃれ（ヒト）、ものづくりの方が多い（ヒト）、スウェーデン国王夫妻が視察（トコロ）、鎌倉リビングラボ（トコロ）、鎌倉文士行きつけのお店でみんなが語り合い文化が作られた（カコ）、子ども（ミライ）、農地・野菜（ミライ）、世代がわり（ミライ）、土地の活用（ミライ）、老年人口の増加・経験値の多さ（ミライ）、鎌倉が好きでコミュニティを守りたい（クウキ）



Presentation



2030年4月1日の「住みたい街新聞」です。

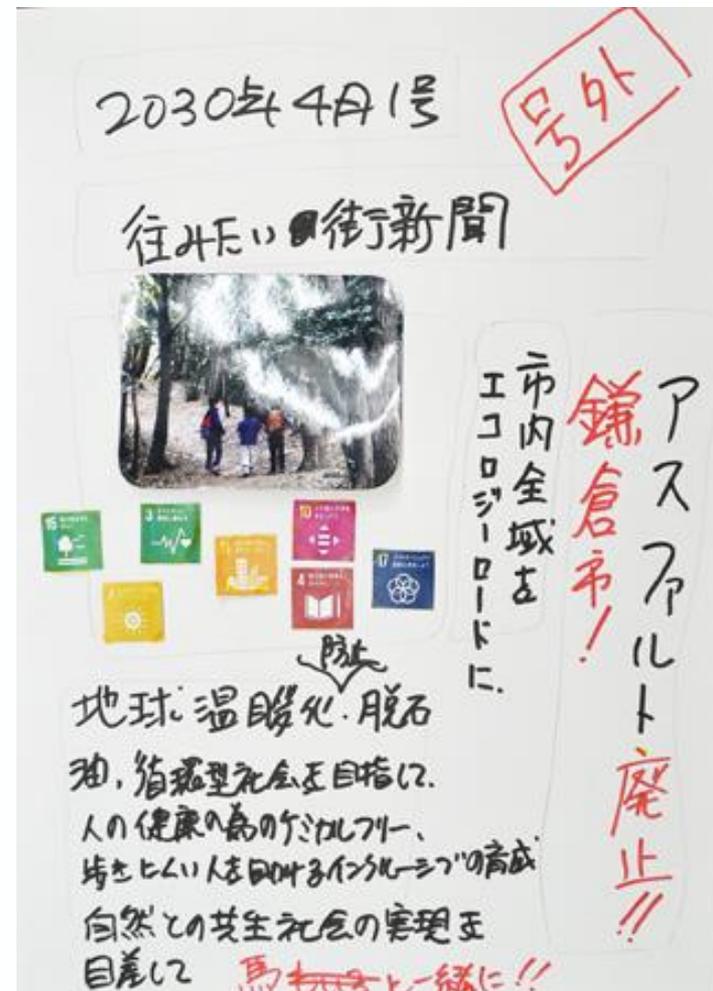
鎌倉市が世界で初めて、全市内のアスファルトを廃止しました。市内全域の道がエコロジーロードになっています。

アスファルトが廃止されたことによって、環境を整えたり、人を育てたり、SDGsの目標に向かってすべてが整っています。

私は鎌倉の街を歩いてみたのですが、地球温暖化防止や脱石油、循環型世界を目指す感じが感じられました。健康のためにケミカルフリーになっているのです。インクルーシブ教育や自然との共生が推進されています。まちでは、馬も一緒に歩いていました。

鎌倉市の魅力：

玉縄幼稚園・未来の人材の育成（ヒト）、自然（トコロ）、馬（トコロ）、自然がいっぱい（ミライ）、インクルーシブ（ミライ）、歩きやすい道路・アスファルト廃止（ミライ）、ケミカルフリー（ミライ）、人を育てる・未来に繋がる（ミライ）、助け合える社会（ミライ）、共生（ミライ）、自然（クウキ）



Presentation



2030年1月1日の「日本経済新聞」です。
一面トップは「鎌倉スマートシティ始動」です！

団地再生計画により鎌倉コンドミニウム、七里ヶ浜と今泉台にコンドミニウムが誕生しました。

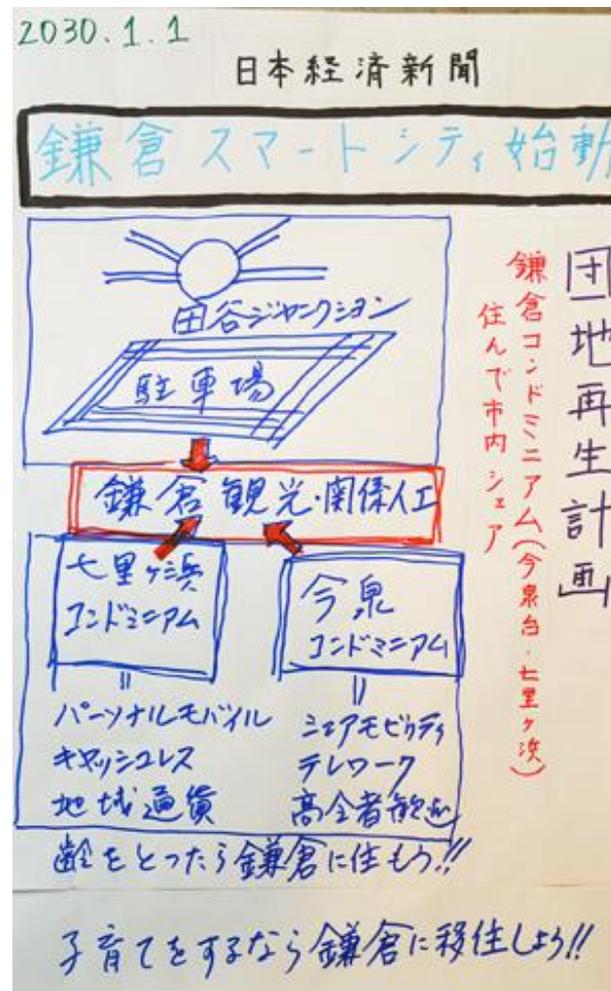
また、田谷ジャンクションもできて、玉縄地域には大規模な駐車場もできました。駐車場のおかげで観光だけでなく、関係人口も増えます。ファンが増えるのです。

コンドミニウムでは、パーソナルモビリティが利用されており、高齢者の施設のほか、シェアモビリティ、テレワーク、地域内キャッシュレスなどが促進されています。

高齢者がますます住みやすく、子育てもしやすいまちで、世代間交流もさかん。心が通うスマートシティを実現します。

鎌倉市の魅力：

1950年代からのニュータウン計画で大変化（コト）、活発で先進的な町内会・今泉台（ヒト）、子育て世代・若い移住者が都内から増えている（ヒト）、信販団地（トコロ）、七里ヶ浜東西武団地（トコロ）、新しいことを積極的に取り入れる（ミライ）、人と人が関わりを持つまちにしたい（ミライ）、近未来の地域内交通システム（ミライ）、田谷交差点・高速ジャンクション（ミライ）、在宅で仕事をしている人が増えている（シゴト）



Presentation



2030年12月1日の「New York TIMES」です。
見出しは「世界一幸福な街 鎌倉」です。

世界一幸福な街として、鎌倉が選定されることになりました。
国連では、ネクストSDGsとして鎌倉時間を採用することになりました。採択された理由は、朝から夜まで豊かな暮らしがあることです。自然環境が豊かで、産業がどんどん生まれ、ゆったりとした鎌倉時間を生み出して、地域経済がさかんになっています。

鎌倉時間には、クリーンICT産業、サステナブルな自然環境、歴史的な環境と文化、人の多様性などがキーワードとして組み合わせられています。
それらが合わさって世界一幸福な街に鎌倉が選ばれました。

鎌倉市の魅力：

多様な人とつながる（ヒト）、色々な仕事・世代が集まる（ヒト）、歴史がある（カコ）、職住近接（ミライ）、自然（クウキ）、時間がゆっくり流れている・鎌倉時間（クウキ）、ユニークな地元企業（シゴト）、ベンチャー・フリーランスが増加中（シゴト）、カヤック（シゴト）



鎌倉市の魅力

※未来編集会議で、新聞の一面記事の中に反映されていたもの

モノ	色鮮やかで朝どれ野菜が手に入ること、海産物、緑が多い、鎌倉彫り、玉縄城址と龍寶寺、住宅地
コト	自然が多い、zen2.0、鎌倉幕府2.0、大学・研究所・卒業生・ノーベル賞、町内会イベント、支え合い活動が活発、1950年代からのニュータウン計画で大変化、多様な人につながる、色々な仕事・世代が集まる、カマコン
ヒト	人口増、子育て世代・若い移住者が都内から増えている、新住民が多い、子どもから老人まで多世代がバランスよく暮らしている、近所との付き合い、活発で先進的な町内会・今泉台、アイデアを持っている人がたくさんいる、ものづくりの方が多く、地位や財産だけが幸せではないと知る心に余裕のある人々、カマコン、高齢者が楽しそうでおしゃれ、玉縄幼稚園・未来の人材の育成、サーファー、主婦の頑張り、観光客
トコロ	自然が豊か、海があり山がある、緑と景観、野村総研の跡地、鎌倉リビングラボ、信販団地、七里ヶ浜東西武団地、スウェーデン国王夫妻が視察、馬、観光客多く人混み
カコ	歴史が学べる、古い建物の保存、民が初めて政治をとった鎌倉幕府、鎌倉文士行きつけのお店でみんなが語り合い文化が作られた、禪発祥の地、コバカバ・パラダイスアレイなど魅力的な小商い
ミライ	出生率アップの地域に、子ども、人を育てる・未来に繋がる、世代がわり、高齢者も活き活きと活躍できる、老年人口の増加・経験値の多さ、お互いを認め合いそれぞれの居場所・働く場所がある、鎌倉で暮らし・働き・遊べるまち、職住近接、IT企業、カマコンバレー、鎌倉資本主義、新しいことを積極的に取り入れる、人と人が関わりを持つまちにしたい、自然がいっぱい、自然活用、農地・野菜、土地の活用、インクルーシブ、助け合える社会、共生、歩きやすい道路・アスファルト廃止、ケミカルフリー、近未来の地域内交通システム、田谷交差点・高速ジャンクション、新しい施設を受け入れる余地が多い、ほしい未来を創れる喜び、SDGsの未来を考えている
クウキ	時間がゆっくり流れている・鎌倉時間、鎌倉が好きでコミュニティを守りたい、自然
ワザ	伝統芸能
シゴト	ユニークな地元企業、市内唯一の上場企業カヤック、IT系企業、パタゴニア本社、自由な働き方をしている人がいる（仕事までにサーフィン、テレワーク）、主婦起業、在宅で仕事をしている人が増えている、ベンチャー・フリーランスが増加中、幸せに働く波ができた



2018.12.01

鎌倉の未来について考え
行動するためのワークショップ